施策評価シート【分野別施策】

施策名			関係部					
1 -	子どもの学びを充実する		学校教育部、社会教育部					
所管事業に関連する成果指標								
指標名	単 位	実績値					5年度 目標値	
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度	5年度		
授業（国語、算数・数学）の内容がよく分かったと回答した児童生徒の割合	小学校	%	79.0	- ¹	81.4	81.4	80.1	80.0
	中学校	%	71.9	- ¹	78.0	78.9	75.2	72.0
自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合	小学校	%	78.9	- ¹	75.7	77.6	80.8	79.4
	中学校	%	75.3	- ¹	72.0	76.0	75.8	76.2
授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと回答した児童生徒の割合	小学校	%	83.5	- ¹	94.5 ²	95.1	94.8	88.0
	中学校	%	77.9	- ¹	93.1 ²	93.3	94.2	80.0

- 令和2年度は、全国学力・学習状況調査が実施されなかったため、実績値はありません。
- 令和3年度から、全国学力・学習状況調査における質問項目が変更されたため、「学習の中でコンピュータ（PC・タブレット）などのICT機器を使うのは勉強の役に立つと回答した児童生徒の割合」を掲載します。

関連事業

幼・保・小・中連携の推進事業 生きる力を育む学校づくり推進事業 日本語指導協力者派遣事業 地域に根ざした教育推進事業 英語教育推進事業 放課後自主学习教室事業 教育指導事業 道徳教育推進事業 GIGAスクール構想推進事業 子ども読書活動推進事業

決算額

	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費（千円）	162,737	471,472	435,539	423,960
執行率（％）	83.10	98.26	97.31	97.26

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- 確かな学力の向上を目指し、幼児・児童・生徒の発達段階に応じた指導の一貫性を図るための学校間連携、学ぶ意欲の向上や学習習慣の確立、活力ある学校づくりを推進しました。また、地域

の教育資源を生かし、地域と共にある学校教育を展開するため、学校運営協議会の設置校及び設置予定校への支援を行いました。

- ・日本語指導が必要な外国につながる幼児・児童・生徒等に対して日本語指導協力者を派遣し、日本語習得と学校生活への適応や充実を図りました。
- ・GIGAスクール構想に基づき整備した環境を活用するため、教員向けのICT活用研修を実施しました。また、外国人英語指導者や外国語科指導者用デジタル教科書を効果的に活用し、幼児・児童・生徒の英語に対する興味・関心を高め、英語や外国の生活・文化に親しむ姿勢及びコミュニケーション能力の育成を図りました。

施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（ ）」

- ・確かな学力の向上や生きる力を育むため、継続的かつ体系的に事業を推進することが必要です。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善や、社会に開かれた教育課程の実現を目指し、児童・生徒の実態や地域の特性を生かして、学校、家庭、地域との連携・協働を推進します。
- ・学校のニーズに応じた支援員等の派遣や対応が必要です。
日本語指導協力者及びサン・サンスタッフによる児童・生徒の学習支援を行うなど学校教育をサポートする活動を推進します。
- ・教員のICT活用のスキルアップや授業力向上を図るとともに、児童・生徒が英語を実践的に使う場が必要です。
英語教育の充実に向けて、教員向けのICT活用研修の実施や外国語科指導者用デジタル教科書を効果的に活用した授業の実践力向上を図るとともに、児童・生徒に向けてはイングリッシュイベントを実施して英語を使ったコミュニケーションの場を創出します。